

活動報告

平成 29 年 2 月～7 月

末吉の活動は地元の方々や関係部局の方々のご尽力により支えられております



再生可能エネルギー発電設備保全地区追加



市道福富久保田通り拡幅工事の推進



三國湊町家 PROJECT 視察 (坂井市)



選挙応援 (那須塩原市・佐野市・あきる野市)



足利市消防第 15 分団に入団

新たな委員に就任

平成 28 年 7 月付で市から委嘱されている委員が変更されました。新たに委嘱されたのは「都市計画審議会」と「生涯学習推進委員会」で、「景観委員会」は継続となります。また議会内では「総務企画防災常任委員会」と「広報委員会」の所属となります。広報では副委員長を務めることとなりました。



小中学生全国大会出場者壮行会再開

平成 29 年 7 月 24 日、一般質問で指摘させていただいた休止中の『小中学生全国大会出場者壮行会』が、約 3 年ぶりに再開されました。壮行会には小中学生 16 名とその親御さん等が出席し、教育長、体育協会会長から激励の言葉が伝えられました。市の説明では休止の理由を「各種目の開催時期の違いにより開催が困難である等」としていましたが、足利の看板を背負ってがんばっている子どもたちを、市長等が直接激励することでモチベーションアップや、郷土愛醸成にもつながることから再開を提言させていただき実現しました。



実現しました



▲詳細



LRT 整備と大谷魅力発信研修 (宇都宮市)



HUG (避難所運営ゲーム) 研修に参加 (梁田地区)



地元のお祭りに参加



ミズベリング信濃川視察 (新潟市)



第 3 回市政報告会開催 (梁田公民館)



鎧年越に参加

平成 29 年 3 月議会 一般質問 (平成 29 年 3 月 8 日)

J R 両毛線の新駅構想と渋滞対策

【末吉】 新駅構想について市民への説明が不足している。あらゆる手段を使って説明をすべき。

■一般的な観光地



【市長】 駅の詳細事項が示され次第、ホームページや広報あしかがみで広く市民にお知らせする。

【末吉】 新駅設置による渋滞緩和をより効果的に推進するために、パーク・アンド・バスライド(以後 PB)も検討すべき。

【市長】 栃木県を初めとした関係機関との協議を進めながら、交通渋滞の対策について議論を深めていく。

【末吉】 榎崎寺跡周辺に PB 駐車場を設置することで、見学者増加や商業施設設置の突破口となるのではないかと。

【都市建設部長】 一つの候補地になり得る。

少年スポーツの推進体制

【末吉】 本市の看板を背負ってがんばっている子どもたちを市を挙げて応援し、自信と誇りをもって闘えるように、現在休止中の『全国大会出場者壮行会』を再開すべき。

【教育次長】 日程調整できるものから再開を検討したい。

＜末吉の主張＞

『壮行会・壮行金制度の周知』と『安定した事業実施を確保するための規定の改正』も進めるべき。

公共施設マネジメントの具体案

【末吉】 点在する歴史・文化系施設 (郷土資料展示室、小俣ふるさと学習・資料館、月谷民俗資料室) を、使用されていない東部学校給食共同調理場へ統合してはどうか。約 3000 m²の延べ床面積削減に繋がる。財源として総務省の『公共施設等適正管理推進事業債』や、跡地をリースなどで利活用した収入を充てることもできる。



老朽化した施設に眠る多くの貴重な資料

【政策推進部長】 暫定的な方法の一つでもあるので、今後

＜末吉の主張＞

新駅設置は様々な効果が見込まれるが、駅本体だけでも 4 億円の市税を投入する以上、説明と結果が求められる。

渡良瀬川の活用とホスピタリティ&魅力アップ

【末吉】 観光客が増えている渡良瀬橋歌碑に看板を設置し、駐車場を確保し、パンフレットもリニューアルすべき。

【産業観光部長】 案内表示板と駐車場は関係機関と協議し研究したい。パンフレットは今年秋ごろに向け検討したい。

【末吉】 観光客の滞在時間を延ばすための夜景観光資源開発の一手として、渡良瀬橋のライトアップを検討すべき。

【産業観光部長】 付加価値を高めることができるものと考えられる。設置については関係機関と協議したい。

＜末吉の主張＞

渡良瀬橋ライトアップとホスピタリティの改善で渡良瀬川を新たな観光資源にすることができる。



▲詳細

平成 29 年 6 月議会 一般質問 (平成 29 年 6 月 19 日)

少年スポーツの推進体制

この提案の内容も含めて検討していく。

＜末吉の主張＞

足利の歴史観光隆盛のため、公共施設整理統合論議を機に、歴史文化財保存・展示施設についての本格的な議論をすべき。

まちづくりと無電柱化の推進

【末吉】 本市の景観の維持や防災、交通の安全確保に大きな役割を果たす無電柱化を、大日西地区・中央地区の土地区画整理事業を機に、大日・足利学校周辺で検討すべき。

【都市建設部長】 土地区画整理事業と併せての無電柱化は事業期間、コスト縮減等のメリットがある。地元住民や関係機関と協議のうえ検討する。

＜末吉の主張＞

大日・足利学校周辺は本市の顔であり、観光誘客においても重要なエリア。更なる魅力アップのためにも、景観重点地区指定とセットで検討すべき。



▲詳細

- ◆ 他にも介護予防事業の今後、ツール・ド・とちぎの総括、公共施設マネジメントの周知啓発、遊休施設について質問しました。
- ◆ 全員協議会 (H28.11.29) では再生可能エネルギー発電設備に関する条例施行に対し、風致地区や史跡から見える景観も重要であると指摘しました。 → 史跡周辺を保全地区に追加 (左ページ)

▶ 詳しくはホームページの議事録をご覧ください